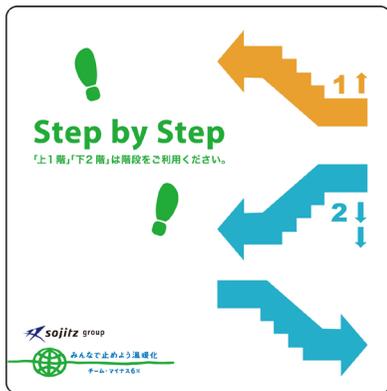


2008年度上期商社の環境保全活動

当会は、2008年度から、6月を商社環境月間に制定して、会員各社が実施してきた環境保全活動をより一層推進している。当月報9月号では、同月間における地球環境委員会各社の活動を紹介した。本稿では、同月間を除く2008年度上期における当会法人正会員（10月末現在45社）の活動について、各社へのアンケート結果に基づき、主な事例を紹介する。

多くの企業で、オフィスにおいて省エネ推進に取り組み、また、CSRレポートや環境レポートの作成、ホームページや社内のディスプレイ等の活用により、各社の取り組みのアピールと合わせ、一般社会への環境意識の啓発を図っている。また、企業の社会的貢献（CSR）活動の具体的な実行、グループ会社、社員の家族を含めた環境保全、社会貢献の意識の浸透のため、



Step by Step運動ステッカー（双日提供）



イワタニ水素エネルギーフォーラム2008福岡
(岩谷産業提供)



夏休み環境教室（伊藤忠商事提供）



メッセナゴヤ2008豊田通商ブース（豊田通商提供）

森林保全や美化運動、また、社員、子どもを含め、広く一般の方々を対象とする講座や教室等を開設し、啓発活動に取り組んでいる。

これに対して参加者からは、今後も参加したい、環境保護への意識が高まった等の感想が聞かれた。とりわけ、森林保全活動の参加者からは、楽しくボランティア活動をすることができた、自然との触れ合いは気持ちよかった、森の成り立ちを学ぶことができた、森がより好きになった、子どもの環境教育に有意義であると感じた、今後も家族で参加できる活動に参加したい、社員、家族のコミュニケーションにも役立ち、自然の大切さを共有できた、また、講座参加者からは、衝撃的な映像を見て、行動に移す重要性を痛感した等の感想が聞かれた。

これに対して企業側からも、環境に対する知識、意識の個人差はあったものの、実施後のアンケートでも全体として関心が高いと感じたとの評価が聞かれた。また、今後の活動への具体的展望が開けた、足掛かりとしたいという評価が挙げられた一方で、今後の課題として、参加者の偏り、対象範囲の拡大、募集のための広報活動、開催時期等の検討や、中期的課題として、環境教育、啓発活動中心から、今後は、環境改善に直接的に効果を及ぼす活動を検討したいと

いう声も挙げられた。また、展示会への出展については、具体的商談につながったことを評価する一方で、統一したイメージの表現等が課題として挙げられた。

1. 日常生活における省エネ推進

多くの会員企業は、自社で作製したポスター、ステッカーを掲示して、クールビズや節水、節電等のチームマイナス6%運動や、エコドライブ運動を推進している。節電にあたっては、昼休みの不要照明の消灯、退館時の消灯、階段利用等を推進している。

2. 環境問題への理解促進

(1) セミナー

- 伊藤忠商事 地球環境ビジネス戦略セミナー「地球環境問題に挑戦する技術と精神」（9月8日。東京本社。社員・グループ会社社員約240名参加。講師：東京大学名誉教授 月尾嘉男氏）
- 三井物産 セミナー「世界の水資源需給と気候変動」（9月12日。本店。社員約330名参加）
- 豊田通商 ISOセミナー（9月16～26日。名古屋本社、東京本社、大阪支店。本社・グループ会社社員約430名参加。国立環境研究所

地球環境研究センターの温暖化シミュレーションおよびグループ会社のCO₂削減・低減活動、eco検定の紹介等)

- 三井物産 セミナー「時代を先導する化学物質総合経営への進化－科学的思考と戦略展開」(9月18日。本店。社員約210名参加。講師：お茶の水女子大学教授 増田優氏)
- 三井物産 地球環境問題シリーズ第1回「今、地球に何が起きているのか？－地球温暖化による世界の危機、企業のリスク、対応政策」(9月30日。本店。社員・関係会社役職員141名参加。講師：国立環境研究所特別研究員 西岡秀三氏)

(2) 研修

- 長瀬産業 環境トピックス(毎月更新。対象：本社・グループ会社社員。「地球温暖化」「循環型社会」「チームマイナス6%」「エネルギー・CO₂削減に関する日本の法令の基礎知識」「当社の環境・エネルギービジネスとは」)
- 三井物産「不都合な真実」上映(5月2日、7日、7月17日。本店、関西支社。本社・関係会社社員計260名参加)



第10回メタルワン東京本社環境ボランティア
(メタルワン提供)

(3) 環境教室

- 伊藤忠商事 夏休み環境教室(8月4～5日。地元の小学生など90名参加。講師、先生役：気象予報士、本社・グループ会社社員、共立女子大学・短期大学のボランティア。体験学習、自然観察指導、地球環境問題の授業等)

(4) 公開セミナー

- 三井物産(三井物産環境基金共催。金沢大学、国連大学高等研究所主催)2008環境フォーラムin金沢(6月7日。一般市民約500名参加。講師：アースポリシー研究所所長 レスター・ブラウン氏、東京大学名誉教授 安井至氏、金沢大学教授 中村浩二氏他)
- 岩谷産業 イワタニ水素エネルギーフォーラム2008福岡「低炭素社会へのアプローチ」(9月29日。福岡。ビジネスマンなど約170名参加。講師等：横浜国立大学大学院教授 太田健一郎氏、九州大学大学院教授 許斐敏明氏、東芝燃料電池システム技師長 永田裕二氏、モータージャーナリスト 清水和夫氏)

(5) 出展

- 豊田通商 国際総合見本市メッセナゴヤ(テ



埼玉の森保全ボランティア活動
(カーギルジャパン提供)

ーマ「環境・エネルギー」) 出展 (メッセナ
ゴヤ実行委員会 (愛知県、名古屋市、名古屋
商工会議所) 主催) (9月11~14日)

3. 地域における環境保全活動の実施

(1) 森林保全

- メタルワン 第10回メタルワン東京本社環境
ボランティア (春の植樹、植栽) (4月12日。
神奈川県宮ヶ瀬ダム湖畔。本社・グループ会
社・社員・家族298名参加。ドウダンツツジ
の苗木700本を植樹)
- 伊藤忠商事 びわこ地球市民の森 植樹 (5
月24日。東京・大阪本社社員35名参加。苗木
100本を植樹)
- 三井物産 谷津田再生プロジェクト2008年度
第1、2、3回プログラム「田植え、草取り、
ホタル観察」(5月24日、7月19日、8月2日。
本社・グループ社員・家族計122名参加)
- カーギルジャパン (埼玉県農林公社との協働
事業) 埼玉の森保全ボランティア活動 (7月
12日。社員、家族19名参加。下草刈り、枝払い)
- 豊田通商 (オイスカとの協働事業) 「富士
山の森づくり」下草刈りボランティア (8月2
日。社員・グループ会社社員・家族47名参加)
- 三井物産 第9回三井物産・森林体験教室
「森と自然とふれあおう！」(8月2~3日。新
潟県 南葉社有林。小学生親子49名参加。講
師：ジョン・ギヤスライト氏、プロ・ナチュ
ラリスト 佐々木洋氏。ツリークライミング、

自然観察、ナイトハイキング、ブナ森への登
山、森林セラピー)

(2) 美化運動

- 長瀬産業 第38回「名橋『日本橋』を洗う
会」参加 (名橋「日本橋」保存会主催) (7月
27日。社員7名参加)
- 豊田通商 お掃除ボランティア (9月24日。
大阪支店ビル周辺。社員41名参加)

(3) リサイクル運動

- 三井物産 エコキャップ収集運動 (8月~
2009年3月予定。ペットボトルのキャップを
回収し、再資源化によりワクチンを購入)

4. 環境保全活動の推進

- 三井物産環境基金 2008年度第1回活動助成
(国内外の生物多様性・生態系保全、表土の
保全・森林保護、水資源の保全、持続可能社
会の構築、エネルギー問題への対応の各分野
計27件・2.55億円の助成を決定)

5. 受賞

- 三井物産 クールビズ・オブ・ザ・イヤー
2008 チーム・クールビズ部門受賞 (クール
ビズ推進協議会主催) (9月30日発表。受賞理
由：お台場パレットタウン大観覧車のイルミ
ネーションで、クールビズ、ライトダウン等
による啓発活動)

(広報グループ) 